



このは
好晴ちやーん



よかったら
いっしょに
あそぼ!

今帰ってきたの?



ごめん...
今日はちよっと

お父さんに
ついてて
あげたくて



今日しめ切り
だから大変
そうだし



家事とかも
色々やんなきゃ
できあ

えー



えらいよねー
好晴

お父さん
恋愛小説書いてん
だっけ



…まー

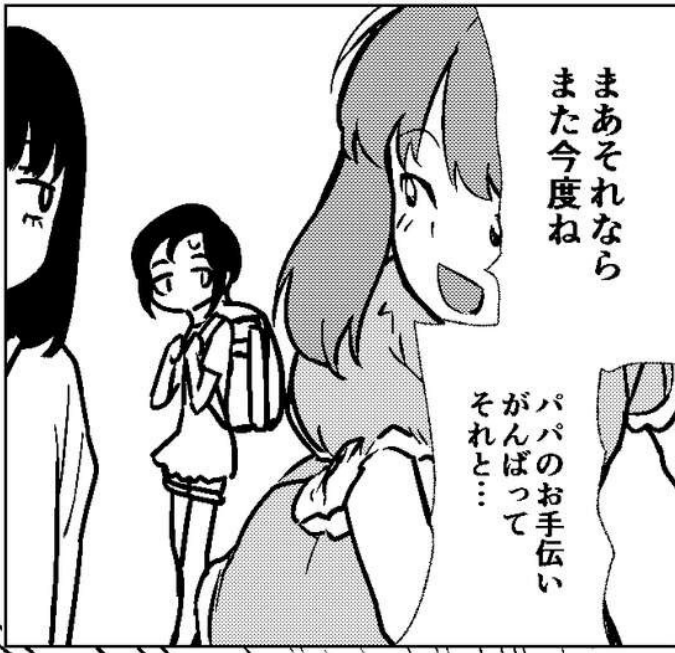
大体そう…
かなあ…

いいなー
パパが
恋愛小説家
なんてちよと
ロマンチックで




まあそれなら
また今度ね

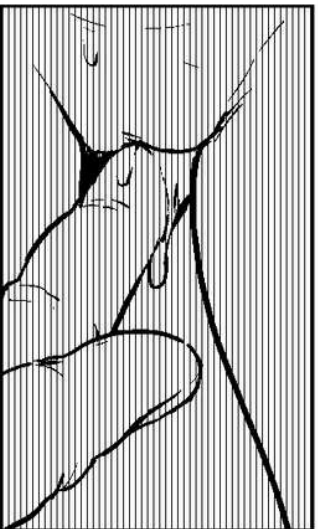
パパのお手伝い
がんばって
それと…




今度パパが書いた小説見してね!!!



私の指が娘の秘裂に
触れると娘は小さく
吐息を漏らした。




それには甘い響きが
混ざっており
まだ幼く未成熟な性器は
生温かく湿り気を
帯び始めていた。



性を知るには
あまりにも早すぎる
歳の娘だが

その丸く潤んだ
ビー玉のような瞳に
戸惑いを滲ませ
ながらも

これから
血の繋がった実の父に
性玩具として扱われる
ことをどこか女の本能
のようなもので察して
受け入れている
ようだった。




これから罪を犯すと
いうのに私のものは
これまでにないほど
激しく怒張っていた。

世界で一番愛おしい
少女と普通の父娘の
関係をこえて深く
繋がるのだ

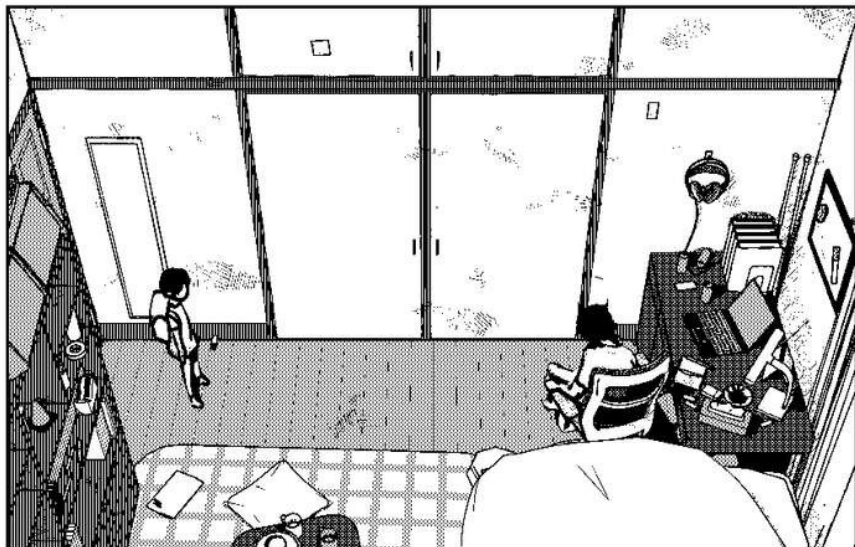
ドロテスクな肉棒と
小さく儂げな桜の花びらの
ような娘の唇が初めて
触れ合う

自分の純潔がたった今
汚されていると知りながら
娘は嫌がるそぶりのひとつも
見せなかった

脳は獣欲に蹂躪され
ただ目の前の愛娘の
肉を食りたいという
ことしか考えられ
なかった。

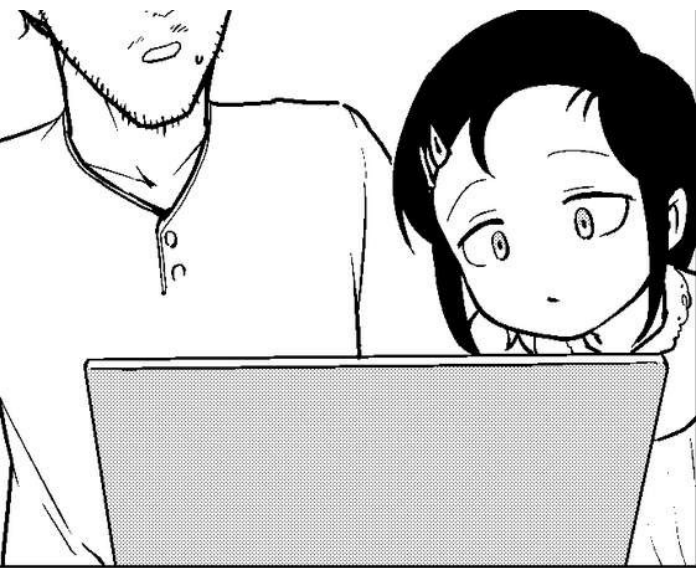


まるで望んでいたかのように
言われるがままに
父親の脚の間から生えた枝の
露を慈しむように舐め取って
いた。



仕事しろやア

ツ!!!



してたから
こそよ!!

シヨリながらの
方がエッチな文
書けるんだって!

ふーん

そんで?
今どんくらい
進んだの?



……ねえー

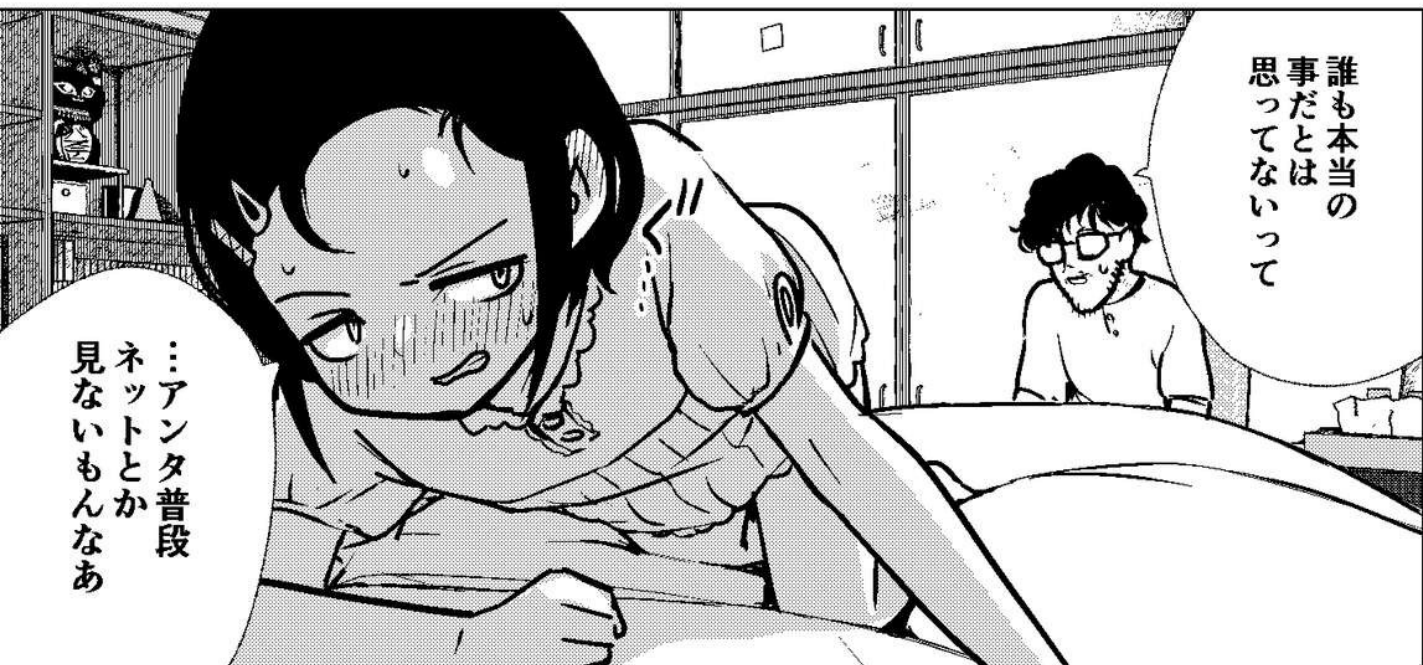
これエー……さあ……
また私じゃん……



もおー
やめてって
ゆったじゃん

なんで日本中の
知らないおじさん
たちにさあー

えっちのとき
のことか知られ
なきゃなんない
のさあー



誰も本当の
事だとは
思っていないって

……アンタ普段
ネットとか
見ないもんなあ

読者はそう
思っていないからね



さっきさあー…
友達にお父さんの
本見せてって
言われて…

見せたの？

エゴサとか
知らないから
知らないでしよ

見せられる
わけ
ねえだろ!!!

でももしもさあ

なんかあって
お父さんのことが
友達にバレたら

私はいよいよ
友達からも
そういう目で
見られるわけよ…

……あのさ

ひょっとして

えっちするの
嫌？



……イヤ……

なわけ
ないでしょー……



それは別に
いいの

てゆか……
好きだし……

今だって
さっきの読んで
初めての時
思い出しちゃって……

そのくせあなたは
シユラバだとかで
何日も私んコト
ほったらかしてるし

そのくせ
一人でオナニー
してるし



正直
待ちきれない
っつーの

シユってないで
さっさと仕事
終わらせてよね

想像じゃなくて
ホンモノの私に
性欲ぶつけてよね!!



カレーには
媚薬効果
があるらしい



はちみつ

媚薬効果
があるらしい



インスタント
コーヒー

コーヒーには
媚薬効果
があるらしい



かくし味に
チョコレート
を入れる

チョコには
媚薬効果
があるらしい



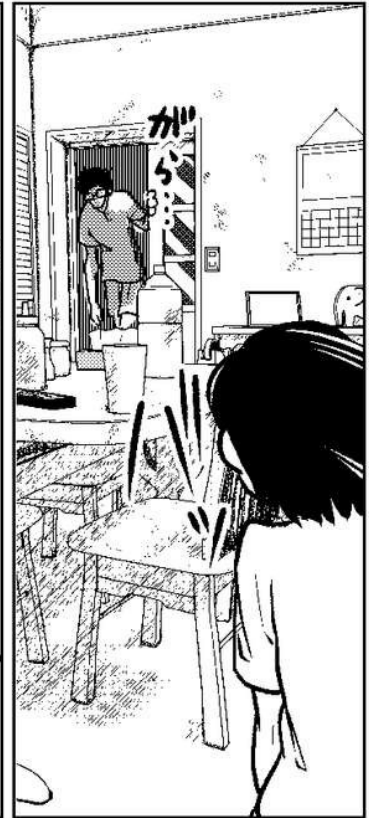
これで何日かは
料理する時間も
えっちに使える

こっちは準備
できてるぞ
早くシゴト終わらせて
イチヤイチャさせろ



しめ切りが
あけたら
いっぱいえっち
したいので

カレーをいっぱい
作っておく







あー！
私もいつしよに
ねちゃってた
のか…

ん…
お父さん…？

は
好晴…



あ…
お…起こし
ちゃった？
ハハ…





堪え性のない
ダメな父親で…

本当だよ



本当に申し訳ない

ヒリ
ヒリ



もう…何なん…
私はずっとガマンして
たのに…

まあ自制心のある
大人だったら自分の
娘とセックスしないか

ん？じゃあ
これでいいの？



えっ？
責任？

どっちにしろ
起きちゃった
から意味ない
けどね

ねえ…もう
ねらんないから
セキニンとって
よね



えっちは
してもいいん
だからさあ
起こしてよ…
いっしょに
しようよ…

って
こんな時間か…
起こさないように
してくれてたの？





うう…子供の体温を
直に感じる…っ

まだ乳歯も
生え変わりがきつてない
小さなお口全部使って

カウパーじゆるじゆる
吸いながらおちんちん
クリーニングして
くれる…

まだ8歳の一人娘に
こんな事してもらえる
なんて…パパになって
よかった…!!



そのわりには
本の言晴より
だいぶキモい
けど

仕事の時は
頑張っている感じの
言晴選んでるの

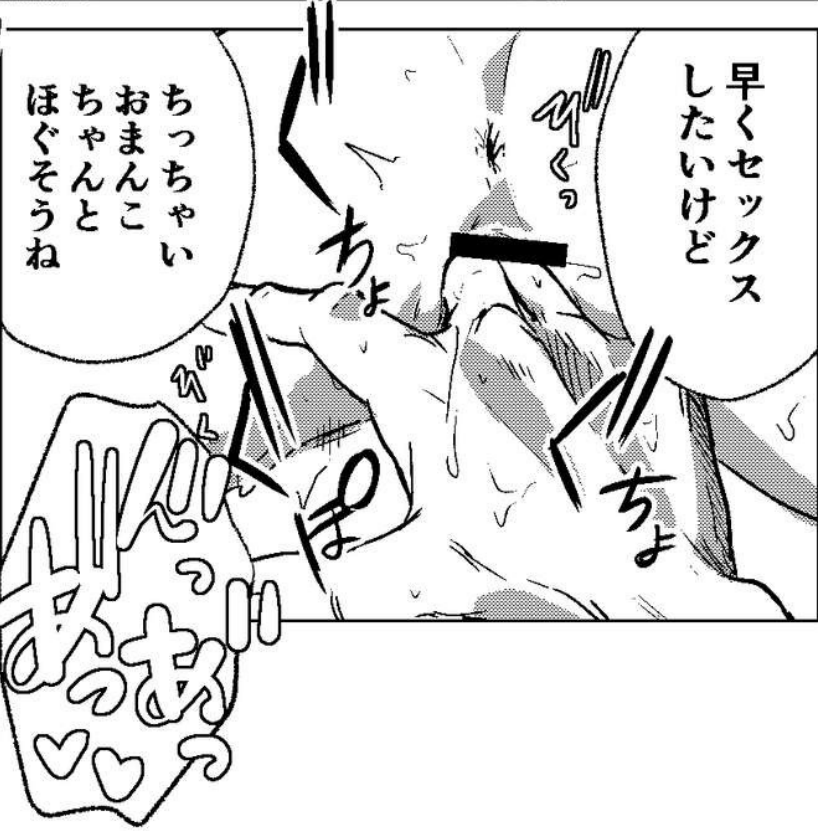
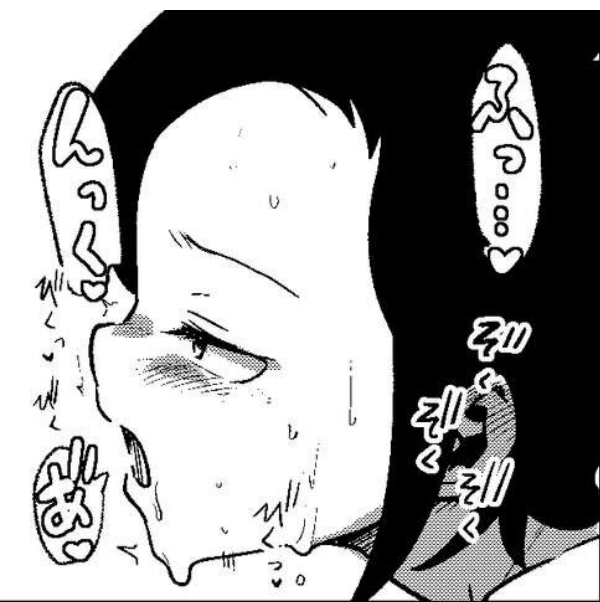


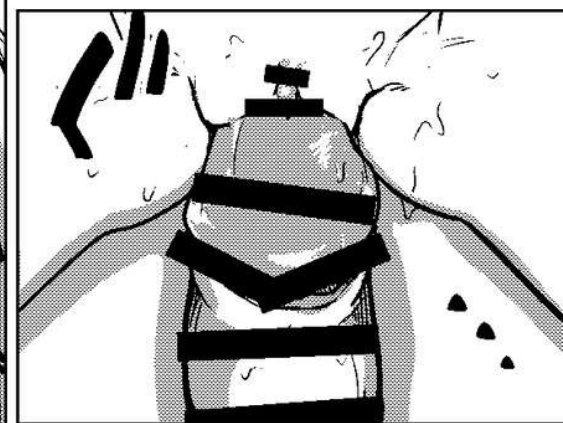
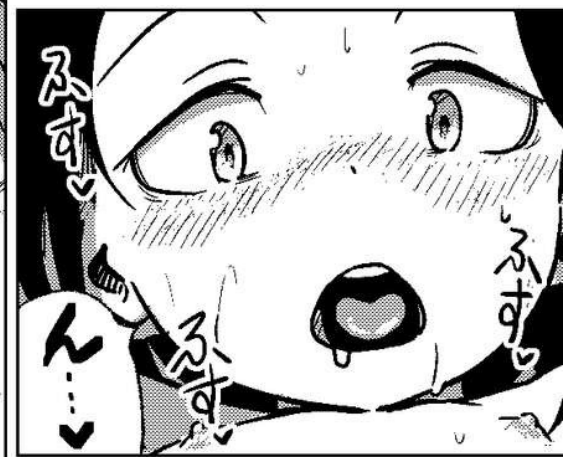
その…さあ…
実況みたいなの
するクセ
なんとか
なんないの

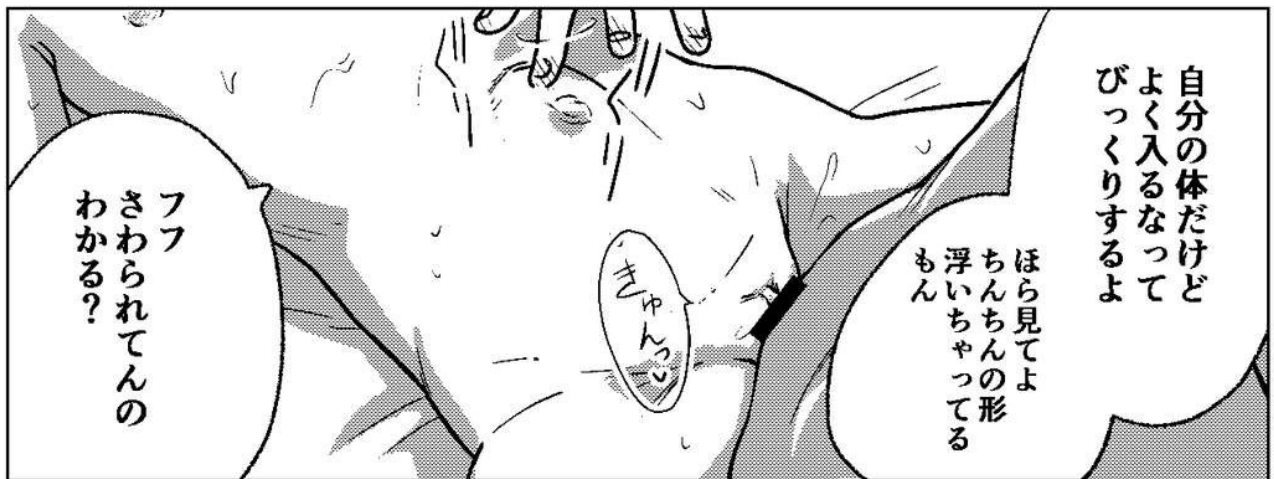
言晴を扱う
仕事をする
ものでつい…

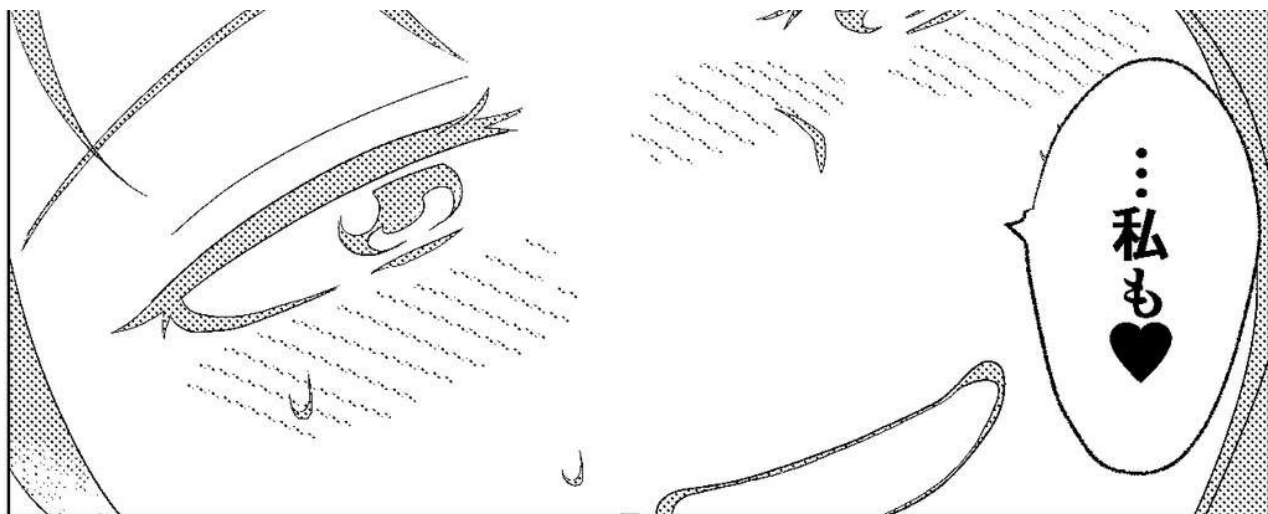












お...お父さ...
はげし...
こわれちゃう...

ごめん…可愛すぎて…
このは
好晴が可愛すぎて
お父さんもう駄目だ…

はあ…もう…
このは
大好きだ好晴…

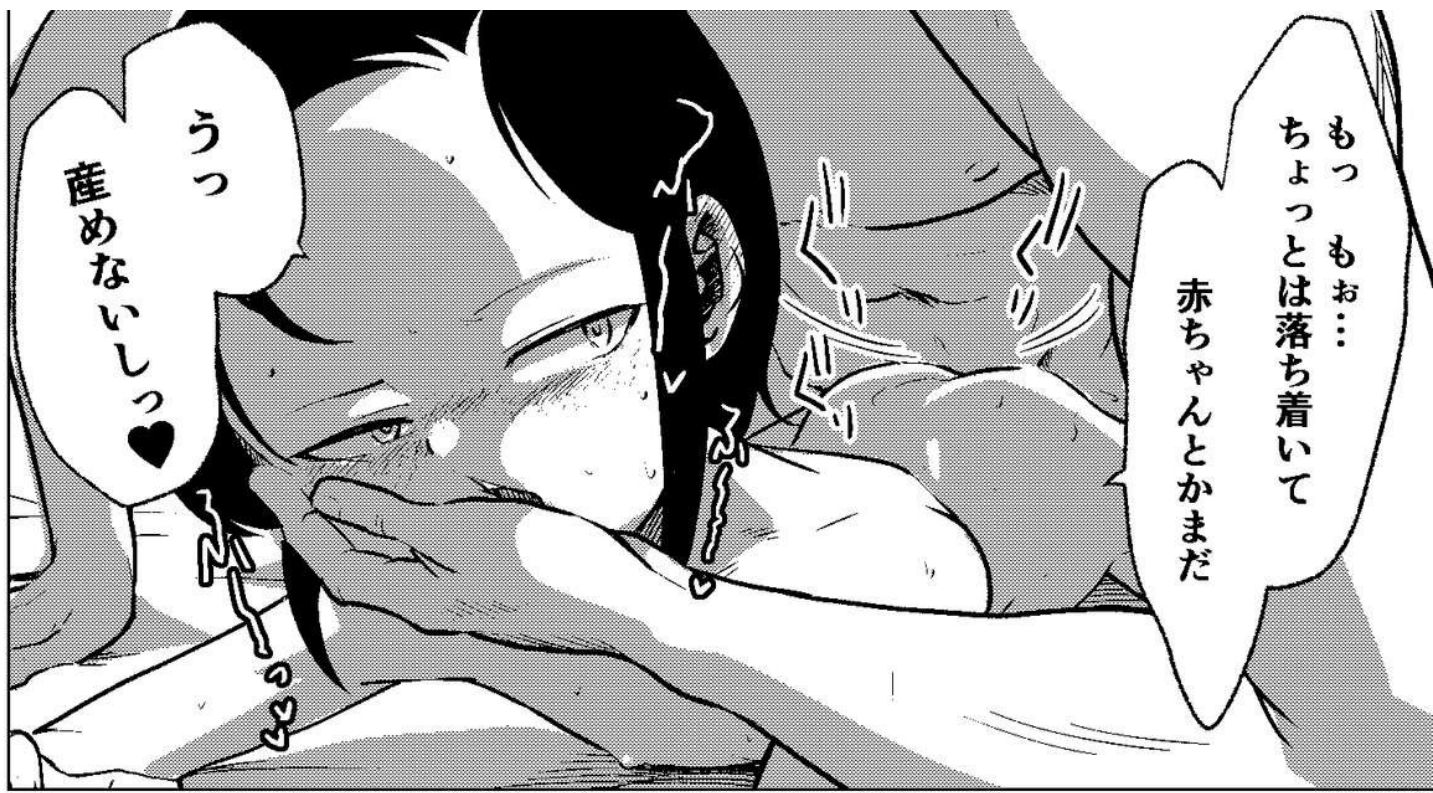
赤ちゃん産んでっ
お父さんと赤ちゃんっ



うう…
ちんちん入れられ
ながらクリクリ
されるのきもちい…♥



ママと赤ちゃんっ



もっもおお…
ちよっとは落ち着いて

赤ちゃんとかまだ

うっ
産めないしっ♡



オーガズムした
方が

妊娠しやすく
なるらしいぞっ

まだキマない
からキマない
♡
コエはあ

もおっ
たからあ



女の子が
いいな…っ
好晴にそっくりの

娘が二人いたら
二倍楽しめる

ハアツ!!

ダメダメっ
ヘンタイ!!

それもウワキ
だからねっ
私としかシちゃ
ダメ!!



変態は
このは
好晴もだろ？

まだ8歳なのに
お友達と遊ぶより
お父さんとセックス
ばっかりして

うう…

おまんこ
グチャグチャに
溢れさせて



サイズ合わない
ちんちん
ねじこまれるのも

無理矢理みたいにも
激しく犯されるのも



だっだっ
きもちいん
だもん…

分かってるよ



気持ち
いいよね♥

繋がってる
ところから全部
伝わってくるよ

だっ…だっって

お父さんも
大好きだぞ
このは
好晴ツ…!!

好きなん
だもん

おとうさん
好きな人と
えっちしたら
気持ちいいん
だもんっ♡

お父さんも
このは
好晴の事大好きだから
気持ちいいよ…っ!

このは
好晴が気持ちよく
なるほど
このは
好晴の腔内も

お父さんの精子
欲しがって
ビクビク締め付けて
きてもっと気持ちいいっ!!

まだ赤ちゃん
産めないのに
精子欲しがり
マンコ可愛いっ



気持ちよくなる
事だけ得意に
なっちゃったね

女の子としての
機能は何もない
まま

れ
ら
お



おっぱいもまだ
乳腺の一本も
育ってないのに

も
も



もお：
おつきいくせに
あまえんぼ
なんだから

ちゅっ

私がいなきや
ダメなんて
お父さんのほうが



ああっ好晴っ：
可愛い…大好き

一生大好きっ
俺の娘！
俺の嫁っ！

一生一緒に
いてくれっ！！

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ



赤ちゃん
みたい…
♡



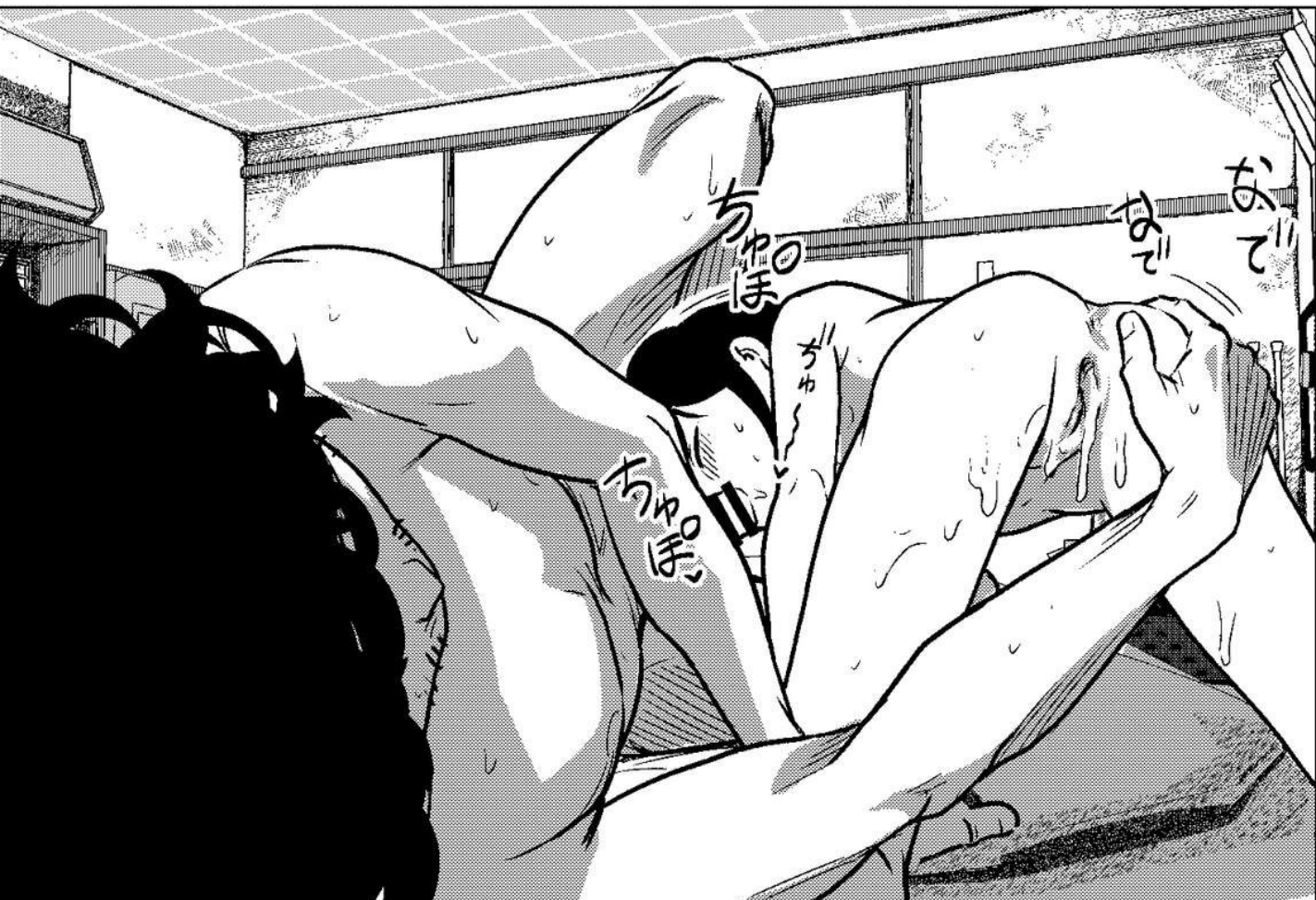
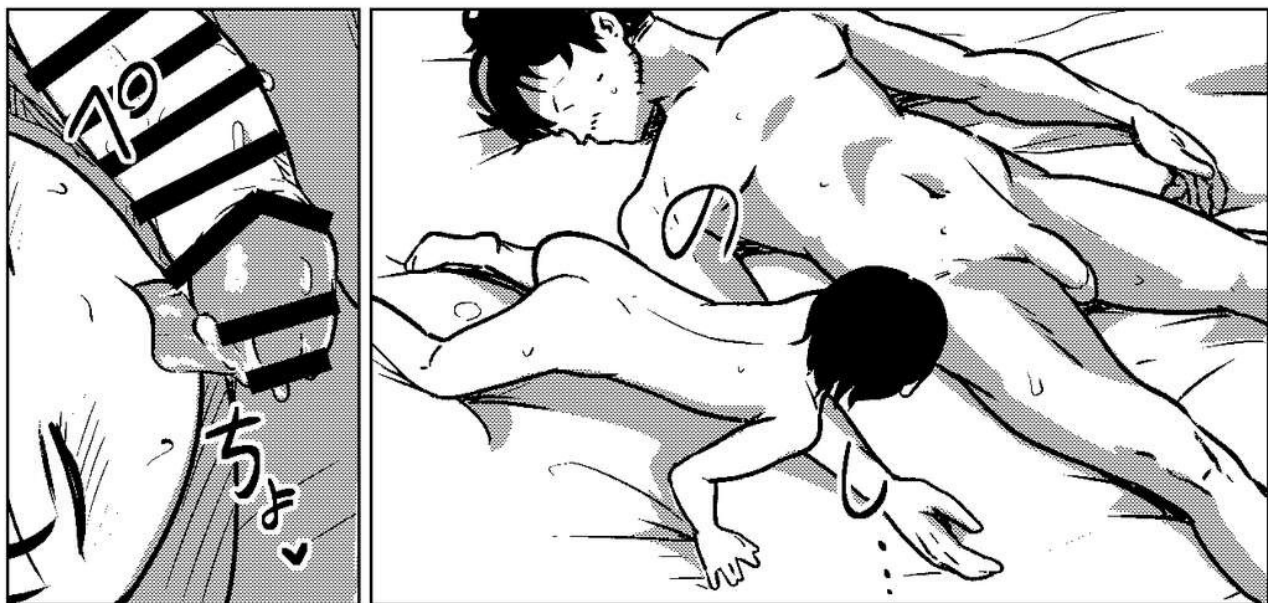
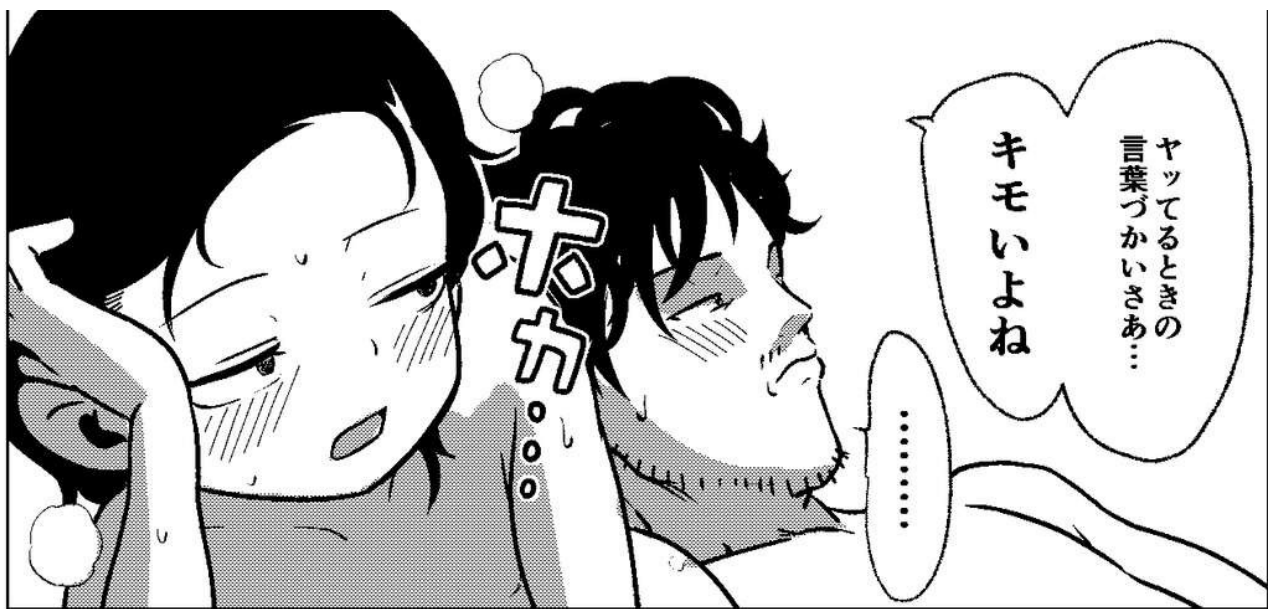
そのつもり
だって
ゆってんじゃん

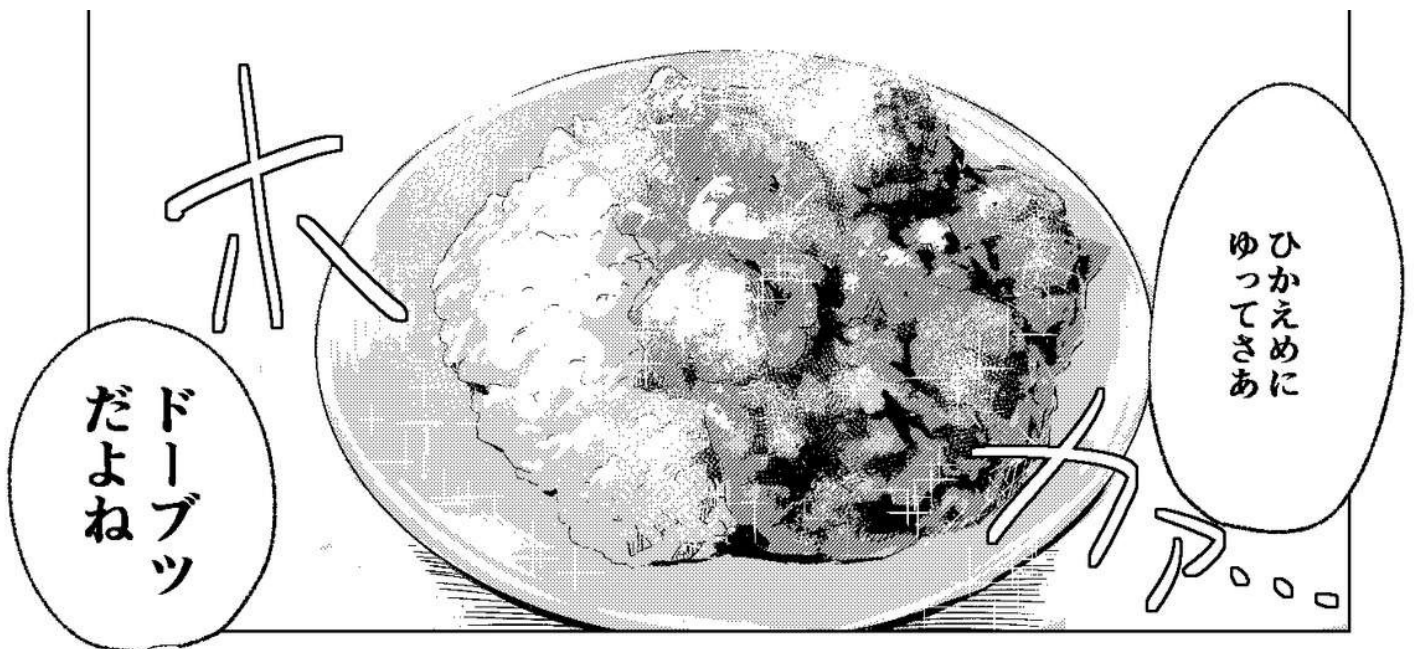
赤ちゃんだって
産んであげるよ
オトナになったら











ひかえめに
ゆってさあ

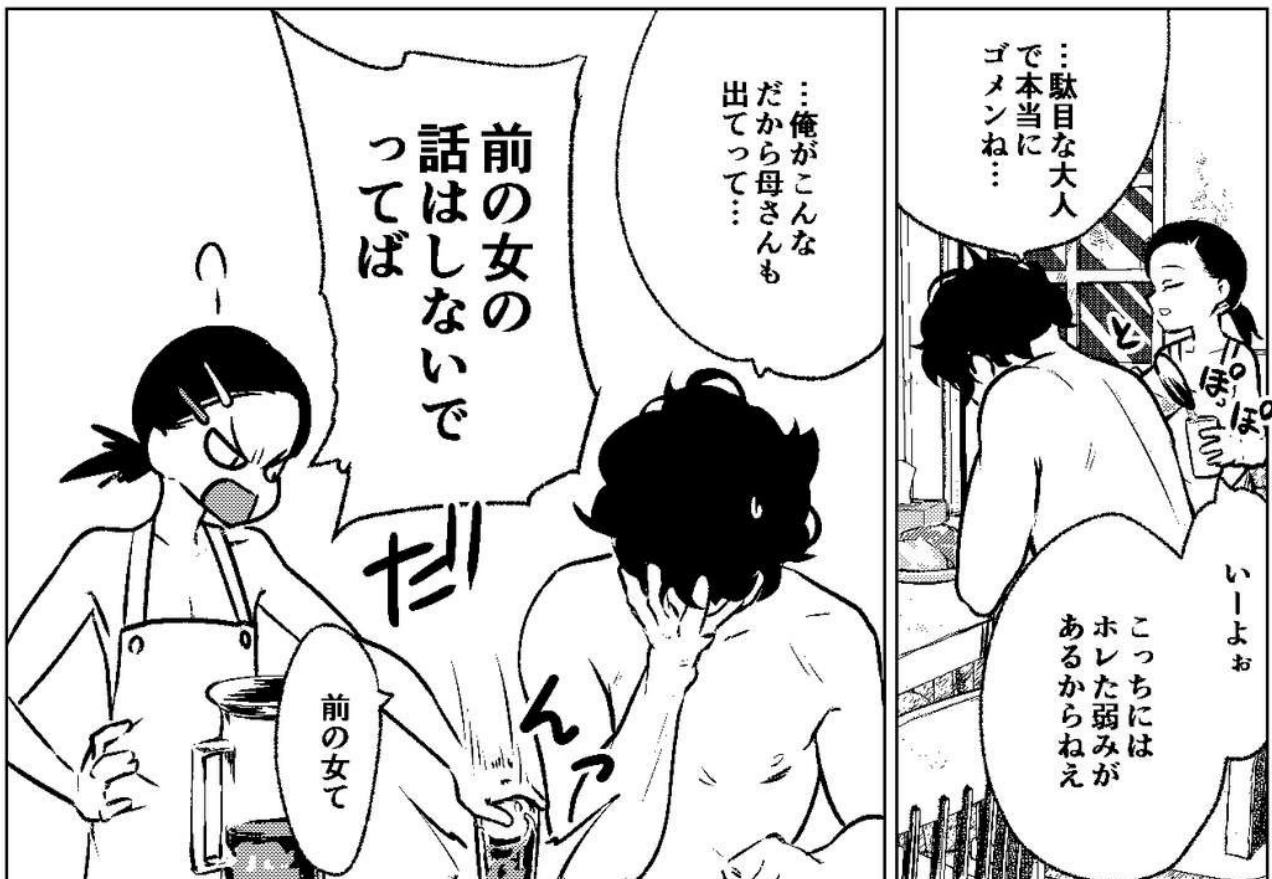
ドーブツ
だよね



眠いから寝て
やりたくなったら
犯って

射精したら
今度は
食欲って

本能でしか
動いてない
じゃん



駄目な大人
で本当に
ゴメンね

俺がこんな
だから母さんも
出てって

前の女の
話はしないで
話せば

前の女

こっちは
ホレた弱み
があるからねえ

いーよお



なんか勝手に
罪悪感感じて
るのは知ってるけど
さあ

誰に何と思われ
ようと私は幸せ
だからね

うん

おいしい

カレー？
おいしい？



にしても
こんな時間なのに
もう寝れそうに
ないなあ...

じゃあ私も
学校サボる



ねえ



お父さん
今日からは
ヒマなんですよ？

え？

まあ...



休ませないから
がんばってね

いま

.....